

消費者問題シンポジウム in 松江

平成27年11月14日(土) 13:30～16:30 於:くにびきメッセ 601会議室
公開シンポジウム「消費者被害をなくすために」

司 会 内閣府消費者委員会事務局 森 繁 祥 成

1. 開会挨拶

島根県生活協同組合連合会会長理事 鎌 田 憲 男

2. 基調講演「消費者被害をなくすために」

講 師 内閣府消費者委員会委員長代理、弁護士 池 本 誠 司

3. 報告「消費者委員会の活動について」

報告者 内閣府消費者委員会事務局長 黒 木 理 恵

～～ 休 憩 (約10分) ～～

4. パネルディスカッション

<コーディネーター>

内閣府消費者委員会委員、全国消費生活相談員協会専務理事 増 田 悦 子

<パネリスト>

内閣府消費者委員会委員長代理、弁護士 池 本 誠 司

消費者庁参事官 日下部 英 紀

島根県消費者センター消費生活相談員 久 保 照 美

島根県環境生活総務課消費とくらしの安全室長 河 原 正 憲

地域つながりセンター事務局長 野 津 久 美 子

5. 総括コメント

内閣府消費者委員会委員長代理、弁護士 池 本 誠 司

- ★ 記録のため、会場内の写真撮影を行います。撮影した写真は、内閣府公式 Facebook や消費者委員会ホームページ等に掲載する場合がございます。ご了承ください。

(配布資料リストは裏面)

【配布資料】

資料 1 「消費者被害をなくすために」池本委員長代理資料

資料 2 「消費者委員会の活動について」黒木事務局長資料

資料 3 パネリスト日下部参事官資料

資料 4 パネリスト河原室長資料

資料 5 パネリスト野津事務局長資料

消費者被害をなくすために

～次のステップは地域連携～

2015年11月14日

消費者委員会

委員長代理 池本誠司

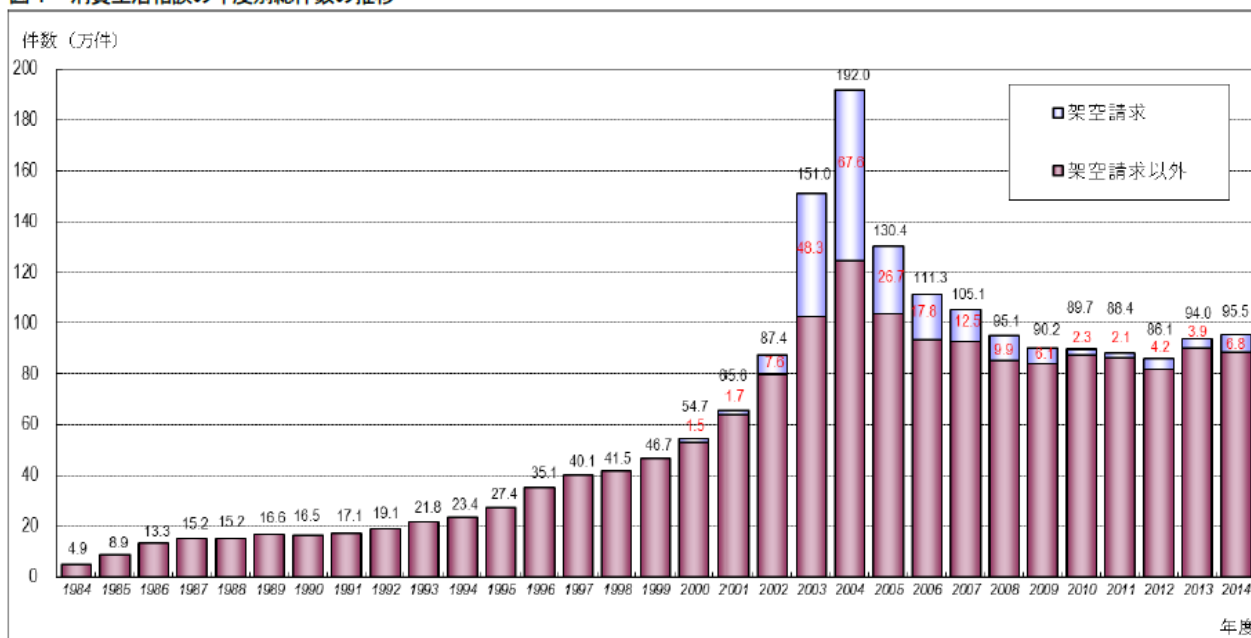
第1 地方消費者行政の強化

1 消費者被害の実情と消費者行政の充実

(1) 地域の消費者被害は高い水準で推移している

- ①最近10年の推移を見ると若干減少しているように見えるが、30年間に相談件数は約10倍に増加している。
近年は90万件前後で推移し、再び増加している。

図1 消費生活相談の年度別総件数の推移



(注) 架空請求の件数は2000年度以降集計しています。

- ②高齢者のトラブル、インターネット関連トラブル、情報通信関連トラブルが増加している。
- ③消費生活相談に係る契約額は
総額約5500億円、1件当たり平均約120万円
⇒都道府県・市町村別の契約額は？